

# 神戸女学院八十年史年表

明治六		三月二十日タルカット、ダッドレー両女史神戸入港◎十月十二日両女史が花隈村前田兵蔵方で英語、唱歌の教授を始めた	一八七三
七	(院長)	四月両女史が教場を北長狭通白洲退蔵方に移した◎五月伝道団が大坂神戸に女学校を設立することを決議した◎七月両女史が女学校開設の計画を米國伝道会に伝えた	一八七四
八	タ カ ツ ト	三月十六日伝道団が山本通敷地を購入した◎十月十二日新校舎「神戸ホーム」落成授業開始	一八七五
九		パロウズ女史渡来◎八月十九日「七一雑報」に新学期開講廣告◎十一月クラークソン女史着任	一八七六
一〇		二月講堂兼寄宿舎落成	一八七七
一一			一八七八
一二	クラ ク ソ ン	クラークソン女史が五年制の新課程を提案した	一八七九
一三		夏タルカット、ダッドレー、パロウズ三女史がホームを去った◎九月新課程実施◎校名を「神戸英和女学校」と称した	一八八〇
一四			一八八一

治明 一五	カ タ ル カ ット (仮)	一月ク ラーク ソン校 長帰米 ○タル カット 女史が 仮に校 務をみ た○十 月ブラ ウン女 史来任 ○十二	一八八二
一六	ウ ブ ン ラ	十月ソ ール女 史着任	一八八三
一七		夏、講 堂西側 に寄宿 舎増築	一八八四
一八		九月東 隣白洲 氏廃宅 を寄宿 舎に改 造○高 等科設 置○十 二月創 立十周 年記念 式○校 章制定	一八八五
一九		一月ブ ラウン 校長学 校移転 提唱○ 九月始 めて洋 裁教授	一八八六
二〇		従来の 本科を 改めて 予備科 二年、 本科四 年とし 高等科 を二年 制とし た○白 洲氏旧 宅およ びその 敷地買 収	一八八七
二一		一月新 講堂奉 堂式○ 中舎落 成、白 洲氏旧 宅を東 舎、旧 講堂を 西舎と して寄 宿舎三 棟整備 ○学校 前の湿 地買収 ○英文 学会創 立	一八八八
二二		三月和 文学会 および 外国伝 道会創 立○西 側隣地 買収	一八八九
二三		七月京 阪神キ リスト 教主義 女学校 教師協 議会が 学院に カレッ ヂ設置 を要望 した○ 入学資 格を高 等小学 校卒業 と改め 本科四 年高等 科一年 を置い た○雜 誌「め ぐみ」 創刊	一八九〇
二四	ウ ブ ン ラ	一月本 科高等 科を予 備科二 年本科 二年と 改め、 新たに 三年制 の高等 科を置 いた	一八九一
二五		一月本 科に家 事、衛 生、保 育等の 科目を 設けた ○この 月二十 八日始 めて大 折禰日 を守り 以後一 月第四 木曜日 を常例 とした ○六月 二十五 日高等 科が始 めて卒 業生を 出した ○この 月同窓 会創立 ○十一 月二十 九日ブ ラウン 校長休 暇帰米 により ソール 女史が 校長代 理とな った	一八九二

三六			四月高等科課程一部改正	一九〇三
三五				一九〇二
三四			十一月神戸市水道引込敷設	一九〇一
三三			六月教育勅語謄本下賜◎十一月十二日創立二十五周年記念式	一九〇〇
三二	ソール		四月始業式、以後学年始を四月に改めた◎八月ブラウン院長辞任、ソール女史代る◎十一月二十四日私立学校令により学院の設立を認可された◎十二月二十日ブラウン前院長帰米	一八九九
三一			このころはかまの着用をすすめた◎裁縫専修科廃止	一八九八
三〇			十一月二十日尚饗館奉堂式	一八九七
二九			三月予備科二年本科三年を併せて普通科五年を置き、三年制の裁縫専修科を附設した	一八九六
二八			十一月二十五日創立二十周年記念式◎この年ブラウン院長ふたび来日、各地で療養した	一八九五
二七			三月十八日理科学館音楽館奉堂式◎十一月日本人教員有志が院長を日本人名義とすることを要請した◎この年校名を「神戸女学院」と改称した◎院歌制定	一八九四
治明二六				一八九三

三七										十二月き章制定	一九〇四
三八										十一月二十四日創立三十周年記念式	一九〇五
三九										一月二十五日中部婦人伝道会長スミス夫人来校◎四月学科組織を改め普通科の入学資格を高等小学校二か年修了とし補習科を附設した◎七月十二日ダッドレー女史がカリフォルニアで永眠した◎十一月十九日葆光館落成	一九〇六
四〇										一月三十日神戸女学院理事會設立◎この月自治會創立◎三月二十一日小学校令改正にともない尋常小学校六か年修了を以て普通科入学資格とした◎十二月十九日新講堂奉堂式	一九〇七
四一										体育館新設◎十月補習科を廢して高等科を四年制とし普通科に英語専修科を附設した	一九〇八
四二										五月二十二日始めて創立者記念日を守った◎十月八日四年制専門部設立認可◎普通科、音楽科をそれぞれ普通部、音楽部と改称した	一九〇九
四三										五月十一日元外相大隈重信伯来院	一九一〇
四四	ソール									五月二十二日愛校バザーの始◎十一月一日タルカッタ女史(当時神戸女子神学校教授)永眠年七十六	一九一一
大正元										二月キリスト教女子青年會結成◎五月中旬婦人伝道會長ベアード夫人来院	一九一二
二										四月文部省告示を以て明治二十七年以後の卒業生が検定試験を受けることを認められた◎十月木村教頭就任	一九一三
三										六日家齊館落成	一九一四

正大 四	デフ レスト オ	六月二十四日ソール院長帰米◎九月ソール院長辞任、デフォレスト院長後任となる	一九一五
五		二月六日ソール前院長帰院◎三月二十九日創立四十周年祝賀式およびデフォレスト院長就任式	一九一六
六		二月二十七日普通部を高等女学部と改称した	一九一七
七			一九一八
八		二月専門部を女学部と改称し予科二年本科三年を置くことを認可された◎九月木村女学部長および川崎高等女学部長就任◎十一月十三日勅使来院	一九一九
九		一月三十一日デフォレスト院長横浜出帆帰米◎四月二十日中部婦人伝道会が募金委員を任命した◎八月二十四日財団法人神戸女学院後援会設立認可◎十一月二十二日在米神戸女学院財団設立	一九二〇
一〇		三月木村女学部長辞任◎八月一日デフォレスト院長帰任◎九月一日ソール名誉院長帰米◎二十日後援会明石大蔵谷女学館敷地購入契約調印◎十一月十五日同窓会臨時総会大蔵谷敷地購入および土地購入資金募集の件可決◎二十三日大蔵谷敷地校旗掲揚式	一九二二
一一		三月十五日皇后陛下御使大森男爵来院◎三月三十一日女学部予科および附属英語専修科を廃し高等部を置いた◎四月十二日向上館開設◎九月ソール名誉院長帰院◎十一月十一日同窓会および後援会主催大蔵谷敷地記念文芸会を明石市公会堂で開いた	一九二二
一二		六月十四日女学部英文学科第二部卒業者に中等学校英語科無試験検定の資格が与えられた◎九月十八日島中女学部長就任式	一九二三
一三		三月中部婦人伝道会総幹事リー夫人来院◎十一月神戸女学院拡張中央委員会設置◎この月島中女学部長辞任	一九二四
一四		一月十七日家庭会創立◎三月十三日パロウズ女史永眠◎四月一日教職員退隠料規定実施◎五月十七日始めて愛校週間実施◎二十六日ブラウウン元校長(ハークネス夫人)永眠◎十月十日創立五十周年記念式	一九二五

昭和元		三月大学部が最初の卒業生を出した○この月音楽部が専門学校令により認可された○十二月十七日財団法人神戸女学院設立認可	一九二六
二		一月十二日財団法人設立登記完了○十五日常任校地委員会設置○四月高等女学部卒業生は五年制高等女学校卒業生と同等以上の学力を有するものと指定された○十月後援会が大蔵谷敷地を新財団に寄附した○十一月七日財団理事会は東方移転を決議した	一九二七
三		一月菱沼大学部長就任○四月高等部乙類開設、また大学部を専門部の旧称に復し新専門部に大 学部高等部音楽部を置いた○十一月同窓会明石支部が大蔵谷移転促進運動を起した	一九二八
四		四月新校舎の設計をヴォーリズ建築事務所に依頼した○この月三十日後援会解散○五月三十一日社団法人神戸女学院同窓会設立認可○七月一日在米神戸女学院財団建築資金七十万ドル募集完了○九月ソール名誉院長帰米○十二月総建築委員会設置	一九二九
五		三月七日西宮北郊岡田山桜井子爵家所有地買収○十月三十日岡田山敷地校旗掲揚式	一九三〇
六	デフ レスト	四月一日竹中工務店と建築契約締結○十二月十二日新校舎定礎式	一九三一
七		二月二十五日高等部乙類に英語科教員無試験検定認可○四月一日高等部家政科開設	一九三二
八		四月五日岡田山新校舎移転○十月十四日ソール記念礼拝堂献堂式、茶室松籟庵寄贈式	一九三三
九		四月十八日新校舎落成式○七月菱沼大学部長退任	一九三四
一〇		二月一日梶中副院長就任式○四月一日高等部甲類を高等部本科、同乙類を同英語師範科と改称 ○九月十一日社交館開設○十月十七日創立六十周年記念式○二十六日神戸女学院後援会基本金 五十万円募集決定	一九三五
一一			一九三六

和昭 二二			五月高等女学部三教室増築落成◎十月専門部を専門学校と改称◎十二月十八日御真影奉戴	一九三七
二三			五月二十一戦前最後のバザー（恤兵バザー）◎七月五日阪神地方水害により試験延期◎九月五日勤勞奉仕始まる	一九三八
二四			二月三日川崎高等女学部長永眠◎十一月八日デフォレスト院長発病	一九三九
二五	島 博中		一月十八日デフォレスト院長婦米◎十九日二宮高等女学部長就任式◎四月一日高等部家事教育科開設◎八月三十一日デフォレスト院長辞任◎十月十一日島中院長就任式◎二十四日戦前最後の文芸会◎二十六日元校長クラークソン女史（キャディ夫人）永眠	一九四〇
二六			三月六日自治会解散、報国会結成◎五月十九日恩給規定制定（のち退職金規定と改称）◎七月二十五日在米資産凍結◎八月二十八日米人教師引揚◎九月十一日専門学校報国隊編成	一九四一
二七			六月十日財団法人神戸女学院寄附行為改正認可	一九四二
二八			一月十二日家事教育科に教員無試験検定認可◎十二月軍需工場における勤勞作業開始	一九四三
一九			四月一日大学部および高等部各科廃止、専門学校に外国語科、家政科、経済科、音楽科を置いた◎十一月校舎大半を微用された	一九四四
二〇			六月十五日洗たく実習室被災焼失◎八月六日文学館被災◎十月自治会復興	一九四五
二二			十月米人教師帰院◎この月文芸会復活	一九四六
二三			三月米人教師帰院◎四月一日新制中学部設立認可◎六月デフォレスト名誉院長婦院◎十二日天皇陛下御来院	一九四七

和昭 二三			三月二十五日新制大学設置認可◎この月財団法人神戸女学院寄附行為改正◎四月一日新制高等学部設立認可◎五月二十二日愛校バザー復活◎七月十三日職員協議会結成◎この月在米資産凍結解除◎八月二十四日島中院長渡米◎九月十三日職員就業規則制定	一九四八
二四			三月五日島中院長帰任◎十五日高等女学部、専門学校（音楽科を除く）最終卒業式◎三十一日退職金規定廃止◎四月一日新制高等学部設立認可、大学音楽科開設	一九四九
二五			十月十二日創立七十五周年記念式◎十一月八日デフォレスト名誉院長帰米	一九五〇
二六	島 博		二月二十四日学校法人神戸女学院設立認可◎九月十五日退職金支給規定制定◎十月一日教育施設資金三千万円募集開始◎二十五日ソール名誉院長永眠年九十四	一九五一
二七			二月二十七日大学音楽部設置認可◎三月十五日大学第一回、専門学校音楽科最終卒業式	一九五二
二八			五月二十二日難波学長就任式	一九五三
二九	紋難 吉波		三月島中院長辞任◎十七日島中院長感謝送別式◎四月十六日難波院長就任式◎二十四日大学研究所設置◎十一月一日秩父宮妃殿下御来院	一九五四
三〇			六月七日大学文学部が大学基準協会会員校の資格を認められた	一九五五